

交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2017年5月16日

No.14

2017年度夏季手当を申し入れる

基準内賃金×2.7カ月

回答指定日 6月15日 支払指定日 7月7日

2017年度 夏季手当第1回交渉報告

中央本部は、本日15時より「2017年度夏季手当の申し入れ」を行い、以下の点を訴えました。

- ①会社は鉄道事業部門 5 億円の黒字を達成することが出来た。これは組合員の血の滲む苦勞によるものであり、自信を持って堂々と要求したものである。
- ②会社にとって期末手当は業績給という意味合いが強いが、18年ベアが実施されない中で、組合員の賃金は物価上昇レベルに抑えられていない。したがって夏季手当は極めて生活給であり、誠意ある回答を示されたい。
- ③新たな自立を目指した経営計画を建てたことによって、要求額に応えられないということは断じて認められない。

これに対して会社の回答は次のように回答しました。

- ①鉄道事業部門の黒字化達成は社員全員の力で達成できたと思っている。したがって、その思いに応え、一時金と新たな福利厚生制度の導入を決定した。
- ②会社として新たに「新中期経営計画2021」をスタートさせたが、線路使用料などコスト面の増加が見込まれていることや景気も低迷している。
- ③29年度は28年度より厳しい状況が見込まれているが、真摯な議論は行っていきたい。

会社の回答に対し中央本部は以下の点について指摘しました。

- ①私たちは血と汗を流して、会社の黒字化達成に向けて奮闘してきた。この会社の回答は組合員の気持ちに添っておらず、絶対に許すことが出来ない。
- ②この間、私たちは我慢を強いられてきた。JR 発足以降、初めてとなる黒字化達成や過去最高とも言える経常利益を出した成果に対して、会社として誠意を見せること。
- ③各職場の要員需給が厳しい中で、会社の想定を上回る勢いで若年退職が発生している。必要な要員措置を会社として責任をもって実施すること。
- ④職場で努力する組合員に対して経営陣は真摯に受け止めること。また、経営陣としての決意を見せるべきである。

組合員のみなさん！本日より夏季手当交渉がスタートしました。中央本部は、組合員の切実な要求の実現に向けて全組合員の総力で職場闘争と結合させ、不退職の決意で臨むことを明らかにして第1回交渉報告とします。

以上

次回、第2回交渉は5月26日（金曜日）です。